

統合型歯科医学教育への新たな展開

— 系統講義コンテンツを進化させた統合的e-Learning Programの開発 —

建学の理念

1. 建学の理念

「歯科医師である前に人間たれ」
⇒ **人間性豊かな歯科医師を育成**

2. 大学の特色

社会の要請に合わせた教育カリキュラム
⇒ **学長のリーダーシップ、全学的なコンセンサス**

- 1) 充実したカリキュラム
- 2) 質の高いマンツーマン教育
- 3) 総合病院を含む三病院連携の教育
- 4) 最先端の研究を生かした教育

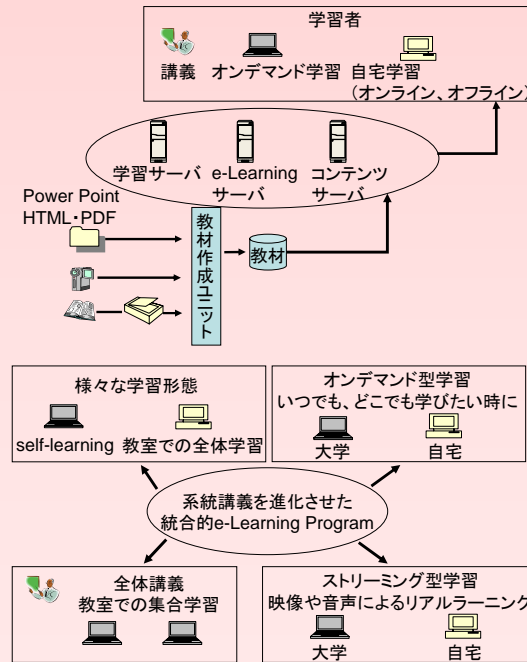
本学は本邦最古の歯科医学教育機関であり、1890年(明治23年)の開学以来、知識や技術はもとより社会性、国際性を身につけ、人間的に優れた良識豊かな歯科医師を養成することに重点をおき「歯科医師である前に人間たれ」との「人本主義」を掲げ、これを建学の理念としている。
これは学生一人ひとりを大切にする指導理念であると同時に、国民医療に携わる歯科医師を育てる指導理念である。

取組の概要

平成10年の歯科医師国家試験出題基準の改定、平成13年の歯学教育モデル・コア・カリキュラムの策定により、従前の科目別の考え方から、機能別・疾患別の考え方が導入され、歯科医学教育において各科目の統合的な理解が求められることとなった。

本学でも統合的な科目が徐々に導入され、統合的な考え方からPBLの手法を取り入れた授業も開始したが、それでも従前からの系統別講義が主流となっている。一方、IT環境を整備しながら、各科目でe-Learning Programとしての教育コンテンツが作成され今日まで充実を図ってきた。しかし、これらはそれぞれが独立した系統的な考え方から作成が始められたため、統合型学習の支援システムとしては不十分である。

そこで本取組ではこれらの教育用コンテンツを、**統合型学習の支援の観点から再編、充実をさせるとともに有機的に連携させるシステムを構築することにより、オンデマンドのself-learningプログラムを作成し、問題発見・解決能力の育成を図る**ことを目的としている。



統合的e-Learning Programの効果

1. 系統科目と統合テーマ相互をサブテーマでリンク・検索できる連携プログラム

学生が自分なりに自己の知識のデータベースを構築することを実現でき、問題発見・解決能力の養成につながる

2. 基礎知識やコミュニケーション能力向上のための画像・動画コンテンツの充実

視覚的・聴覚的なコンテンツの活用で、より実際に即した学習を可能とし、知識のみならず、コミュニケーション学習にも効果的である。

3. 予習・復習にも活用できるプレ・ポストテストプログラムの活用

知識はより実践的、問題解決を指向するものとなる

4. 学生のコンテンツ開発への部分的参加や利用評価

学習者本人のモチベーションが上がると同時に授業等の改善活動への参画意欲を高めることができる

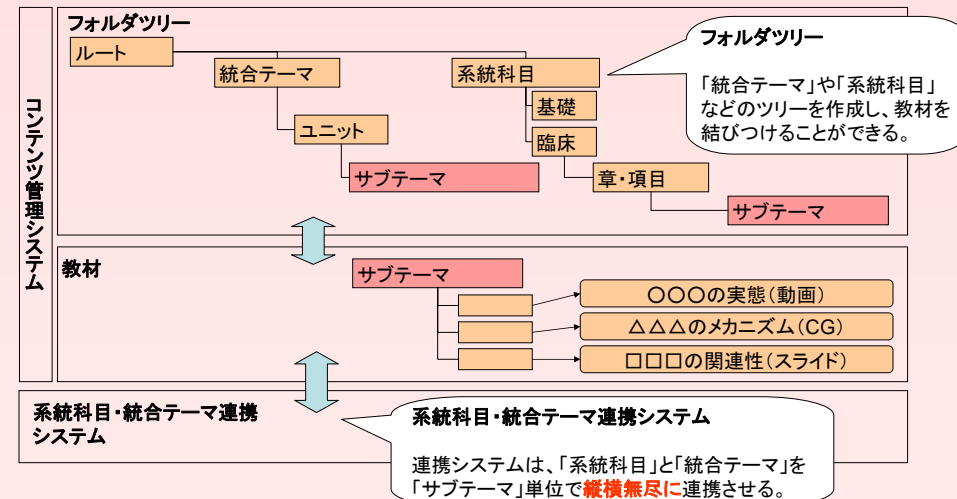
取組状況

「系統科目」と「統合テーマ」を「サブテーマ」によって有機的に連携させ、「系統科目」による系統立った学習による基本的知識の理解と「統合テーマ」の統合的・全人的・問題基盤型の視点との組み合わせによる歯科医学・歯科医療の深い理解を目指す。



システム構造概念図

フォルダツリーと教材と系統科目・統合テーマ連携システム



統合的e-Learning Programの特徴

1. 系統科目と統合テーマ相互をサブテーマでリンク・検索できる連携プログラム
2. 基礎知識やコミュニケーション能力向上のための画像・動画コンテンツの充実
3. 予習・復習にも活用できるプレ・ポストテストプログラムの活用
4. 学生のコンテンツ開発への部分的参加や利用評価